

「固定チームナーシング研究会 第18回東北地方会」を開催しました

2023年12月16日に「固定チームナーシング研究会 第18回東北地方会」を当院看護部が主催開催しました。昨年の仙台オープン病院より引継ぎ、福島で10年ぶりに、福島市の杉妻会館を会場に、3年ぶりに集合形式で開催しました。北海道札幌から福島まで158名の方々にご参加いただきました。

また、北神洋子先生（固定チームナーシング研究会会長）、西元勝子先生（固定チームナーシング研究会名誉会長）、杉野元子先生（看護組織開発研究所所長）にも福島までお越しいただきました。

看護を取り巻く環境は目まぐるしく変化しています。その変化に柔軟に対応し患者に質の高い看護サービスを効率よく提供するためには、固定チームナーシングを上手に活用していくことが変化に対応する一つになるのではないかと思います。

そこで今回は、固定チームナーシングの様々な機能を上手に活用し、継続看護・介護の実践につなげられるようにしたく、「患者の意思を尊重した継続的な看護・介護の実践に向けて今こそチームで支え合おう」をテーマとして開催いたしました。

北神会長から「患者・利用者に責任を持った継続的な看護・介護の実践」～固定チームの基本から～というテーマでご講演をいただき、その後11題の演題発表を行い、各演題に対し意見交換を行いました。看護・介護分野、病棟・OP室・外来、看護補助者等様々な分野からの発表でした。

日頃の看護・介護の実践を共有し、他施設の方々と意見交換し、先生方からの熱いアドバイスをいただけたことで、自施設の課題解決につなげていける会になったのではないかと思います。対面ならではの熱気を感じた研究会になりました。

今回は看護部が中心となり、当院の医療情報システム課・用度施設課の協力を得ながら、準備から運営まですべて自分たちで会を運営しました。「やればできる」と看護部の力を感じた会にもなりました。

2024年2月5日
福島赤十字病院
看護部長 鈴木佳子



福島市杉妻会館にて



発表者と参加者の意見交換の様子



先生方と当院の大会運営職員